



長野県社会福祉協議会と本学は、包括的連携に関する協定を締結しました

【社会福祉学部】

2022年5月26日、長野県社会福祉協議会と本学は包括連携協力に関する協定を締結しました。

両者は、これまでも教育・研究に関して連携して取組を実施してきた経緯があります。

今後も、組織的に連携し、双方の発展に資する活動を推進し教育研究の振興と人材育成への寄与を通じて、地域社会に貢献してまいります。具体的には、

- ① 地域共生社会の実現に資する事業・調査・研究に関すること
- ② 福祉教育に関すること（「ボランティア論とその活動」の開講支援）
- ③ 福祉専門職の養成に関すること（社会福祉士実習に関する協議）
- ④ 若者の地域活動への参加に関すること（現在も継続的に行っている、令和元年台風19号被害にかかるボランティア活動）

の4点です。

長野県社会福祉協議会会場の協定調印式で、中村学長は、「少子化に向けて大学も新しい役割を意識して、従来以上に太いパイプをつくり、活かしたい」「これまで以上に福祉の実践の力と研究の力を繋ぎ、未来に向けた人、地域づくりに協働して取り組みたい」と抱負を述べられました。



県社協の藤原会長(左)と本学中村学長(右)

地域福祉推進フォーラムを開催(講師:太田 貞司教授)

【社会福祉学部】

2022年9月7日(水)に、上田市サントミューゼで、上田市福祉課、上田市社会福祉協議会、地域の福祉団体と本学社会福祉学部と協働で、地域の自治会長、民生委員・児童委員、福祉推進委員を対象に地域福祉推進フォーラムが開催されました。本フォーラムは、地域住民や関係者の地域福祉の意識の醸成及び理解を深める機会とするイベントであり、当日は、約300名の参加がありました。



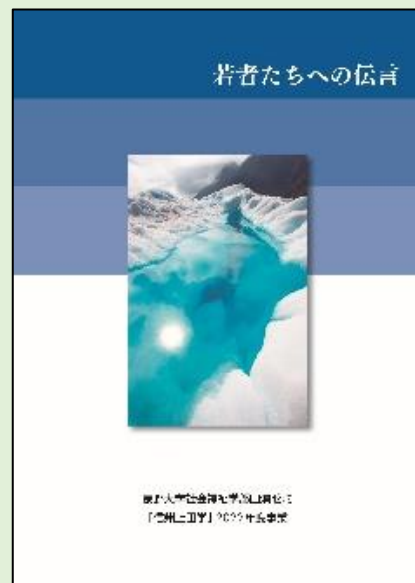
戦争を語り継ぐ活動を開始！市内の中学で(山浦ゼミ)

【社会福祉学部】

長野大学では、2019 年度より上田市と協働して信州上田学事業を推進しています。

信州上田学地域パートナー連携事業の取り組みのひとつとして、記録集「若者たちへの伝言」を作成しました。

山浦ゼミの学生たちが、戦争体験者への聴き取り、上田市内の戦争遺跡を調査し記録集にまとめました。(左図：記録集「若者たちへの伝言」)



市内の中学で戦争を語り継ぐ活動を展開

この記録集を活用した取り組みとして、2 月 17 日に第二中学校、2 月 21 日に塩田中学校で、山浦ゼミの学生たちが戦争を語り継ぐ活動を行いました。

(2 月 22 日付け信濃毎日新聞 地域 19 面に活動の様子が掲載されました)
最初に、ゼミ学生たちが上田市と太平洋戦争をテーマに、上田市に飛行場があったことや上田市に空襲があったことを中学生たちに説明しました。

その後、実際に戦争を体験した方たちからの聴き取ったエピソードを中学生たちに紹介しました。

終戦当時、青木で小学校の先生をされていた女性からは、英語を学びたかったが、当時英語は敵国後のため学ぶことができなかったお話し、別の方からは戦地に行った自分の父親の戦争体験のお話しや復員後も戦争の恐怖体験により、身体の震えが止まらなかったことなどを紹介しました。

エピソード紹介後、クラスの中でグループに分かれた中学生たちに心に残ったことを話しあってもらいました。また時間の最後には、中学生たちにアンケートの回答をお願いしました。



第二中学校にて生徒を前に説明する下島さん(左)工藤さん(右)



タブレットを使ってアンケート答える生徒の様子

記録集作成を通して・今後の活動について

ゼミ生たちは記録集作成を通して、教科書では知ることができない生々しい出来事を知ることができ、自分の大切な家族や仲間を失うことの悲惨さ、過去の戦争だけでなく今現在も世界で起こっている争いごとを自分ごとと捉え考えること、加えて平和の尊さを改めて感じたとのこと。

また活動の場を提供いただきました中学校の関係者の皆様、中学生の皆様ありがとうございました。

山浦ゼミでは、引き続き語り継ぐ活動をして行きたいと考えています。

ビジネスアクション関東甲信越大会で「地方創生賞」を受賞しました(森ゼミ)

【企業情報学部】

企業イノベーションプロジェクト」で推進してきたものをビジネスコンテストで

企業情報学部の森ゼミナールでは、2022 年度、企業イノベーションプロジェクトと題して、スタートアッププロジェクト、理論的研究、実践的研究を進めてきました。実践的研究では、各チームが関心を寄せる企業の問題解決を、また、スタートアッププロジェクトでは、株式会社はやしや様に焦点を当てながら、年間を通して、プロジェクトを展開してきました。はやしや様に提案した内容を、森ゼミの1つのチームがビジネスコンテスト(ビジネスアクション)に応募することになり、2月25日に発表し、見事、「地方創生賞」を受賞する運びとなりました。

準備期間も少なく、スライドづくりも急ピッチで進めることになりましたが、チームのリーダーの中島さんを中心として、検討を進め、このような成果となりました。当日は、審査員のコメントとともに、はやしやの社員の皆様にも視聴いただき、発表後コメントもいただくことができ、大変有益な機会となりました。



年間の成果をもとにしっかりと発表できました。



発表した森ゼミの中島さん(左)と江口さん(右)



「ターゲットとして設定する人は、こんな状況に」自分たちではやしや様と協働で試作を作り、プレゼンを行いました。

Go Next!

柳町の交通問題における現状と提案」の調査結果を上田市役所で報告(熊谷ゼミ)

【環境ツーリズム学部】

熊谷ゼミナールに所属する、「チームうえだ観光」の学生グループは、柳町通りの適正な観光地化を推進し、観光客満足度の向上をめざすべく、2019年から継続して柳町における地域課題を分析する学習・活動を行ってきました。本学習は、岡崎酒造(株)岡崎社長や上田ブランド研究所池松所長等柳町観光振興会のご指導やご協力により実現しているものです。

令和5年3月14日、柳町観光振興会の幹部の皆さんと学生たちは市役所を訪れ、下記項目の地域課題や実証実験に関する調査研究結果について、上田市市長をはじめ商工観光部、都市建設部の幹部の方にご報告し意見交換しました。



- ①柳町の観光車両の動向、観光客の滞在時間や顧客満足度の現状と特性を明らかにする。
- ②柳町の車両通行制限による、歩行者天国化(朝カフェ)の実証実験をお手伝いし、観光客の動向変化を観察する。
- ③柳町での車両通行・駐車制限を行う上で必要な周辺駐車場の情報を収集し、誘導上の課題を明らかにする。



今回の調査研究は歩行者が気兼ねなく歩いて観光できるウォーカブルな観光まちづくりのあり方を研究目的としており、そのなかで街なかの観光資源を掘り起こし、商店や案内板整備の必要性を再認識する結果となりました。学生たちは、観光客と交通車両との関係で同様な問題を抱えている、鎌倉、川越、東京谷中、高山等の歴史的町並みを視察したり、観光ガイド協会からヒアリングするなどの調査もゼミ学習の中で実施しています。

また、この日の発表会には、前日に卒業式を終えたばかりの4年生も最後の成果発表として参加し、上田の地で学んだことへの感謝の思いや4月からの新生活への希望を発表しました。

- ・長野大学に入学をして4年間上田市に住めたことは、本当に嬉しく財産です。
- ・観光客と住民の方の思いや意見の違い等を、調査研究を通して肌で感じる事ができた。この難しさを学べたのは上田の地にある長野大学で学べたからだと思います。
- ・まちづくりについて学ぶだけではなく、実証実験まで行うことができたのは地域をフィールドにしている長野大学だからこそだと思います。

調査研究は後輩たちに引き継がれ、来年度以降は地域住民の方との連携調査実施を実現すべく活動を行っていきます。



朝カフェの支援をしながら調査する学生の様子

上田市と連携・協働事業「地域づくり人材育成講座を開講

【地域協働活動】

2022年12月15日、上田市と長野大学とで連携・協働して開講する「地域づくり人材育成講座」(最終回:全6回)をサントミュージゼ・大ホールで行いました。

本講座は、平成22(2010)年度より開講しており、地域コミュニティや市民が主体的に地域課題の解決に取り組み、個性や特色を生かした魅力あるまちづくりが行えるよう市民の皆様に学んでいただく機会として行っています。

過去には、福祉や防災などの講座を開いてきましたが、今年度は「コミュニティ・スクール」をテーマに講座を行いました。コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域住民等がともに知恵を出し合い、学校運営に反映させることで、一緒になって子供たちの豊かな成長を支える仕組みのことです。

第1部「振り返ろう！私たちの上田」では、本学社会福祉学部の早坂淳教授をコーディネーターとして、前回の講座で作成した「私たちの上田市」(地図)を参照しながら、上田にある地域学校協働活動の振り返りと今後上田で展開できそうな活動について話がありました。

第2部「考えよう！大切にしたいこと(35)」では、一般社団法人あそび心 BASE アフタフ・バーバン信州理事長の清水洋幸氏による「35」というグループワークが行われました。上田のまちや子どもたちのこれからの在り方について、参加者の「ねがい」を抽出しました。

第3部「あなたならどうする？地域コーディネーターになってみよう！」では、本学3学部の学生がコーディネーターを務めました。グループごとに架空の学校を設定し、その地域のコーディネーターとしてどんな活動ができるのか、またその中で問題点や改善策を考えました。

第4部「伝えよう！私たちのねがい」では、第1部から第3部までのまとめをグループごとに発表しました。長野県信州型コミュニティ・スクールアドバイザーであり上田市立北小学校で地域コーディネーターを務める伴美佐子氏がコーディネーターを務めました。

第5部「振り返ろう！私たちの講座」では、学生スタッフが制作した動画を視聴し、これまでの連続講座を振り返りました。また、早坂教授による総括として、「地域とともにある教育の在り方」や「子どもたちの幸せのためにそれぞれが『自分事』とすること」などのまとめの話がありました。

最終回の第6回講座では、本講座を運営する「Team コラボっちゃお」全員がコーディネーターを務めました。講座終了後に閉講式を行い、全6回の連続講座が終了となりました。

参加者からは「多くの学びと気づきをいただきました」や「長野大学生が楽しい！」「ぜひこの学びと経験を活かしたい」などの感想が聞かれました。





Get ready for the next step!

